

長田百合子理事長の月刊『MOKU』新連載

RINGO 白書

しきしま やまところろ
敷島の^{しきしま}大和心を人間はば ^{にお}朝日に匂ふ山桜花 (本居宣長)

山桜は、里の桜より少し遅れて花を咲かせます。季節の移り変わりを敏感に受け止めながら、人知れない山里の中でも凛として、咲く時節にきちんと従い、散る瞬間をも選ばず、美しい姿と柔らかな薫りを無心のままに漂わせています。「朝日に匂ふ山桜花」は宣長が歌い上げるまでもなく、美しい日本の風土と日本人の心を余すことなく表現していると言ってもいいと思います。

日本には、日本にしかない、繊細で微妙な四季の変化があります。私たち日本人はそれに包まれながら、そこに住まうものとしての心構えと環境を季節ごとに整え、四季折々の変化と恵みに支えられて暮らしてきました。

世界でも稀な、日本の素晴らしき風土や環境。そこで暮らすことができた先達は、日本ならではの豊かな感性を育み、大自然に畏敬の念を持って天を拜むという文化を築きました。そうして、この国にはあらゆるものに感謝するという伝統的な心構えが根付いていったのも特筆すべきことです。

時代が変わり、文明がどのようなに進歩発展しようとも、この豊かな風土に育まれてきた大和心が失われるようなことがあってはなりません。この大和心こそが日本人のもつアイデンティティ、つまり自己了解のみなもとであり、日本人の誇るべき心象であるはずだからです。

(月刊『MOKU』2008年7月号より (一部抜粋))

長田百合子理事長の連載『RINGO白書』は、月刊『MOKU』に掲載されています
年間のご購読及びバックナンバー購入をご希望の方は、下記までお気軽にお問合せ下さい

MOKU出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-19-7 本郷三宝ビル 6階

TEL:03-5840-7366 FAX:03-5840-7367

URL:<http://www.moku-pub.com> E-mail:info@moku-pub.com